



わたしたちの多摩川

学校名 	昭島市立拝島第一小学校	
参加人数 	生徒	92人
	教師	3人

実施した活動の目的、概要

総合的な学習の活動で、昭島市に流れる多摩川について調べ、自分たちの生活との関わりに気づき、自身の気になった課題に対する探求活動を通して、多摩川への理解を深めることができる。

実施した活動の内容

2021年4月に学級全体で多摩川について調べ、その後グループに分かれ、それぞれテーマ毎に調べ学習を行った。6月には校外学習で多摩川に実地調査を行った。その後に再びタブレットを活用した調べ学習を中心に、多摩川の歴史、多摩川の生き物、多摩川の情報などのテーマのグループでは副読本を活用し、調べ学習を行った。最後に画用紙に情報をまとめ、発表した。

実施の様子



活動を行った効果、参加者の声など

- ・タブレットのみでは4年生では、情報を整理、集約が十分にできなかったが、多摩川に特化した副読本の活用によって、学習が深まった。情報が整理されているので、情報収集に課題があった児童も副読本を読み、自分の知りたい情報を探すことができた。
- ・児童からは「ここに知りたいことについて詳しく書いてあったから、そこからまとめてみる。」など、調べることが明確になり、副読本によって学習意欲も高まった。



多摩川探検隊

学校名		狛江市立和泉小学校
参加人数		生徒 92人

実施した活動の目的、概要

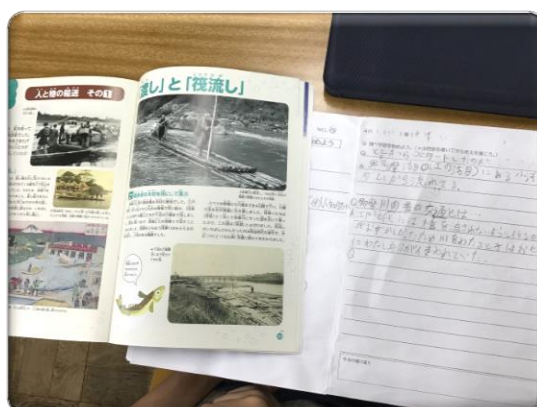
- ・地域を流れる多摩川に興味、関心をもつ。
- ・多摩川に生息する多様な生物を調べたり、川と人々の生活の関わりを調べたりすることで、環境に対する意識を深める。

実施した活動の内容

- ・4月30日 狛江水辺の楽校 竹本さん講演
- ・6月～7月 各自、テーマを決めて、調べ学習

実施の様子

児童は水辺の楽校の講師から話を聞いて、多摩川に生息する生物について知り調べ学習のきっかけを得た。各自興味をもったことをテーマに設定した。魚、虫、鳥、植物、石（化石）、外来種、川そのもの等のグループに分かれ、自分の疑問に思ったことを書きだし、調べ学習を進めている。その際「ようこそ多摩川へ」を活用している。




活動を行った効果、参加者の声など

- ・生き物に関してはミニ図鑑のようにとても詳しく分かりやすい。また、上流、中流、下流とみられる場所ごとにされており、さらに季節によってページが分けられていて、調べやすい。
- ・「川と生き物のつながり」の視点がよい。社会科で「水」の学習をしたところなので、最終的に、このあたりを児童に理解させたい。
- ・コロナ禍でもあり、実際に多摩川に行くことができないので、2学期以降の計画している。



多摩川大捜査線

学校名		調布市立杉森小学校	
参加人数		生徒	115人
		教師	3人

実施した活動の目的、概要

本校は調布市の南側に位置し、多摩川から徒歩10分程度の場所に位置している。環境にも恵まれ、日頃から家族と共に多摩川に出かけ、魚を釣ったり、広場で遊んだりするなど、多摩川に親しみを感じている児童が多い。第4学年は毎年、総合的な学習の時間に「多摩川大捜査線」という学習に通年で取り組んでいる。

実施した活動の内容

5月 ゲストティーチャーによる多摩川の魅力についての話・多摩川へのフィールドワーク

6月 テーマ別調べ学習

7月 レポート作り・レポート交流会

実施の様子

はじめは、多摩川の動植物に詳しい、ゲストティーチャーと共に、多摩川に出かけ、たっぷり自然を感じる活動を行った。その後、「多摩川の〇〇について調べ、△△とのつながりを見つけよう」という大きなテーマの下、興味をもったことや疑問に思ったことからこれから探究したいテーマを決め、植物、魚、昆虫、動物、鳥、石などから調べることを選び、調べ活動を始めた。調べる方法は、図書資料、インターネット資料を活用した。調べたことをレポートにまとめ、発表し合い、1学期の学習を終えた。今後は、さらにフィールドワークを進め、課題を探究したり、きれいな多摩川を保っていくために自分たちにどんなことができるのかを考えたりする学習を進めていく予定である。





活動を行った効果、参加者の声など

調べ学習で大変子供たちの役立ったのが、「ようこそ多摩川へ」の副読本である。上流、中流、下流に分かれて、動植物が掲載されており、児童がなかなか見つけることが困難であった「つながり」についても分かりやすく説明されていて理解が深まった。絵や写真があり、分かりやすく解説が書かれているこの副読本で大筋を理解し、さらに調べたいことを違う資料を探して調べるといった使い分けをする児童もいた。

今後は、生き物や植物などのつながりを知ることで今まで近くにあったけれど、気付かなかった多摩川の魅力を知り、すてきな多摩川があるこの地域を愛し大切に育ててくれることを願い、これからも学習を進めていく。



多摩川ガサガサ探検隊

学校名		川崎市立平間小学校
参加人数		生徒 88人 教師 5人 その他（父母など） 20人

実施した活動の目的、概要

本校では、毎年5年生が総合的な学習の時間に、環境学習に取り組んでいます。その中で、多摩川ガサガサ探検隊を行い、実際に多摩川の中に入り、生き物を捕まえて観察する活動を通し、身近に流れる多摩川のすばらしさや面白さに気付くとともに、ふるさとの川を大切にするために自分たちにできることを考え、行動していく学習活動を行っています。その中で、子どもたちが調べ学習をする際、「ようこそ多摩川へ」を活用させていただきました。

実施した活動の内容

- | | | |
|--------------|---------------|------------|
| ①ガタガタ（干潟）探検隊 | ガス橋（東京側）の下の干潟 | 干潟観察 |
| ②ガタガタ（干潟）探検隊 | ガス橋（東京側）の下の干潟 | 生き物観察 |
| ③ガサガサ探検隊 | 二子新地のあたり | 生き物観察 |
| ④ガタガタ（干潟）探検隊 | ガス橋（東京側）の下の干潟 | 生き物観察・清掃活動 |

実施の様子





活動を行った効果、参加者の声など

- ・活動をする前までは多摩川はただの汚い川だと思っていました。でも、実際に川に行くと魚を捕ったりしてみると、たくさんの生き物が生きていることや、絶滅危惧種のナゴヤサナエというヤゴなどもいて、多摩川はとてもすごい場所だということがわかりました。これから多摩川をより良くしていくためにできることを考えていきたいです。（5年生男児）
- ・前までは多摩川や環境について全く興味がありませんでした。でも何度も多摩川に行ったり、生き物を見つけたりしているうちに、気付いたらだんだん多摩川や環境のことを自然と考えるようになっていて、自分でもびっくりしました。これからみんなで協力して、多摩川を守るための活動をしていきます。（5年生女児）
- ・子どもが多摩川での活動をととても楽しんでいました。休みの日に「多摩川に行きたいからついてきて！」と私を誘うほどです。私自身もガサガサに参加させていただき、こんなにもたくさんの生き物が住んでいるということを初めて知り、驚きました。今後ぜひこの活動を続けていっていただきたいです。（保護者）



多摩川の水害

学校名		中野区立北原小学校	
参加人数		生徒	60人
		教師	2人

実施した活動の目的、概要

多摩川の学習を深めるため（水害と対策の学習）

実施した活動の内容

- ・ 9月の社会の学習『水害から暮らしを守る』で活用した。
- ・ 調べの学習の資料として活用した。

実施の様子

教科書には、1ページしか多摩川のことを書かれていなかったため、教科書に書かれていないことが2ページ書かれている本書を児童は一生懸命読んで身近な川についての理解を深めていた。





活動を行った効果、参加者の声など

スーパー堤防について興味をもったり、他の河川ではどのような対策をしているのか関心をもったりして、よい学習の動機づけとなった。



大田区はかせになろう ～多摩川たんけんたい～

学校名		大田区立糎谷小学校	
参加人数		生徒	105人
		教師	6人
		その他（父母など）	12人

実施した活動の目的、概要

- ・大田区を流れる川である多摩川について、調べ学習をする。（総合的な学習の時間）
- ・多摩川土手の河川敷、干潟において体験学習を行い、生物の観察をする。

実施した活動の内容

- ・10月に、多摩川土手の河川敷において、植物の観察や、昆虫の観察を行った。
- ・10月に、多摩川土手の干潟において、カニや水生生物の観察を行った。
- ・上記の2つの活動について、「多摩川とびはぜ倶楽部」さんの体験活動支援を受けた。
- ・体験学習前後に、「ようこそ多摩川へ」を使用して、調べ学習を行った。

実施の様子





活動を行った効果、参加者の声など

- ・身近な自然である多摩川について、児童が知るよい機会となった。
- ・多摩川土手にある河川敷、干潟にたくさんの生物が生息していることを体験として実感することで、環境に対する意識を高めることができた。
- ・「ようこそ多摩川へ」を用いることで、自分たちの住む下流域だけでなく、中流・上流域のことも知ることができ、児童の興味関心が深まった。



社会

【水害からくらしを守る、とどけよう命の水（玉川兄弟と玉川上水の開発）】

学校名		世田谷区立桜小学校
参加人数		生徒 100人 教師 3人

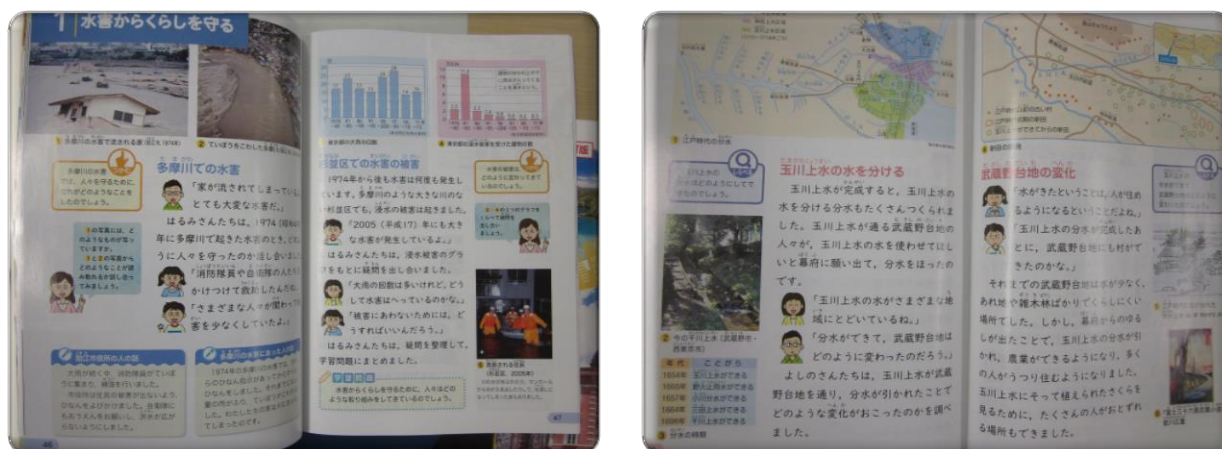
実施した活動の目的、概要

- ・過去の多摩川の水害を学習するために、副教材として使用した。
- ・玉川上水の分水により、農地が広まった学習で使用した。

実施した活動の内容

水害：9月上旬、教室、1974年に起きた多摩川での水害被害について。
玉川分水：11月下旬、教室、玉川上水がどのようにできたのか。

実施の様子





活動を行った効果、参加者の声など

- 「教科書に載っていなかった過去の水害（明治時代）が載っていて勉強になった。」
- 「いろんな写真が大きくて見やすかった。」
- 「鵜飼いや鮎漁について知らなかったけど、知れて良かった。」
- 「川の中にいる生き物や、川原で見られる生き物がたくさん載っていたので、今度探しに行ってみよう。」
- 「昔の多摩川がこんなに汚かったことに驚いた。これからもきれいな川を守っていきたい。」



たまがわっちゃんOme 多摩川について調べてまとめよう。

学校名		青梅市立第二小学校
参加人数		生徒 105人 教師 5人

実施した活動の目的、概要

本校は青梅市について学習を行う「青梅学」に学校として取り組んでいる。4年生は、多摩川について自分なりに疑問をもち、調べてまとめる活動に取り組むことで、身近な多摩川について知識を深めることを目指した。

実際に多摩川に足を運び、見つけたことや不思議に思ったことをクラスで共有しながら、個人の疑問を設定し、「ようこそ多摩川」などの資料を用いて調べ学習を行った。調べたことをまとめ、発表した。

実施した活動の内容

- ・10月中旬ごろ、多摩川で植物や生き物、水の流れる様子、川のまわりを観察した。また、その後、観察したことから不思議に思ったこと、調べたいことを決定した。
- ・11月上旬から中旬にかけて教室や図書室で資料をもとに、それぞれの疑問やテーマに応じた調べ学習を行った。

実施の様子



活動を行った効果、参加者の声など

「（上流、中流、下流のそれぞれについて比べられるレイアウトなので、）上流を中心として調べているときに、まとめやすかった。」

「学校の近くの川が上流と中流の間にあることを初めて知った」

「写真がカラフルでわかりやすかった」

「多摩川に伝わる昔話もあって、それに出てくるキツネを診たお医者さんの話が心に残った」



SDGs新聞をつくろう

学校名		品川区立山中小学校
参加人数		生徒 65人 教師 2人

実施した活動の目的、概要

本校では、全校を挙げてSDGsの推進に取り組んでいます。理科や社会での既習をもとに、「ようこそ多摩川」で自分の興味のあることについて調べるとともに、SDGsの考え方や取り組みについて話題を広げ、自分たちにはできることはないかを考えさせるため。

実施した活動の内容

11月1日から12日までの期間に、教室で、「ようこそ多摩川」をもとに新聞を作成した。

実施の様子

冊子をもとに新聞を作成する児童と、掲示された新聞の様子。




活動を行った効果、参加者の声など

- ・多摩川周辺には、想像していたよりも多くも種類の生き物がいたので驚いた。
- ・社会で学習した玉川上水のことがさらに詳しく知ることができた。
- ・人間が出すゴミが川を汚していることに驚いた。自分にもできることをしていきたい。



水はどこから とどけよう命の水～玉川兄弟と玉川上水の開発～

学校名		武蔵村山市立第四小学校	
参加人数		生徒	56人
		教師	2人

実施した活動の目的、概要

- ・1学期に「水はどこから」、2学期に「とどけよう命の水～玉川兄弟と玉川上水の開発～」を学習するので、まとめて活用したかった。
- ・多摩川について丁寧にまとめられていたので、学習に役立つと思った。

実施した活動の内容

- ・社会科の単元「とどけよう命の水～玉川兄弟と玉川上水の開発～」の学習で参考にした。
- ・社会科見学で小河内ダム、羽村取水堰へ行った。その事後学習の新聞作りで、「ようこそ多摩川へ」を活用した。

実施の様子

- ・「ようこそ多摩川へ」を参考に新聞を描いている様子。




活動を行った効果、参加者の声など

- ・多摩川を調べるにあたって、とても分かりやすくまとめてあるので、役立った。
- ・新聞を作ることが苦手な児童は、「ようこそ多摩川へ」を参考にすることで、進んで取り組むことができた。
- ・絵や図を描くことが難しい児童は「ようこそ多摩川へ」を切り抜きし、丁寧に作り上げることができた。
- ・授業だけでは学習できなかったことを知ることができた。
- ・子供たちが多摩川に興味をもった。



総合的な学習「のがわたんけんたい」

学校名		調布市立国領小学校
参加人数		生徒 82人 教師 4人

実施した活動の目的、概要

- ・身近な自然環境である「野川」の現状を確認し、その豊かな生態系について知る。
- ・野川の自然に触れることで興味関心を持ち、環境保全に対する意識を高める。

実施した活動の内容

- ・5月半ば～9月末まで 総合的な学習の時間を用いて、各クラス内で児童数名のグループを編成し、グループごとにテーマを設定した。ガサガサ体験などの実地観察や、「野川マップ」・「ようこそ多摩川へ」などの副読本を用いて調べ学習を実施。その後、全体発表会を行って、調べ学習の成果の共有を図る。
- ・7月7日 調布警察署近くから野川に入り、ガサガサ体験を2時間ほど実施。水の中の生き物を観察し理解を深める。数匹はその後学年で飼育し、継続的にその様子を観察。
- ・2月中旬 野川付近を散策し、バードウォッチングを実施予定。

実施の様子

- ・実際に野川で捕まえた川魚等の生き物を「ようこそ多摩川へ」の写真と見比べて、観察をしていた。児童の予想よりも多くの種類が生息していることに気が付き、野川の自然の豊かさを実感していた。
- ・川岸の植物や昆虫にも興味を示し、教員に写真を撮ってもらって、帰校後に副読本を用いて調べる児童もいた。
- ・ガサガサ体験後は、野川以外の川（多摩川や利根川）などに住む生き物にも興味を持ち、調べ学習時はタブレット端末を活用しながら他の川の様子を調べていた。



活動を行った効果、参加者の声など

- ・自分たちが住んでいる町は、どちらかというとマンションやビルが多い場所であることは社会科の授業で理解していたが、それらと同時に豊かな自然があること（豊かであること）を知り、「川」は多様な生態系を育む場所であることを理解した。ガサガサ体験後には、家族で野川の観察に出かけたり、多摩川まで足を運んで生き物の観察をしたりする児童もいた。
- ・児童から「学校も多くの生き物が生きられる場所にしたい」という声上がり、それを委員会活動の中で取り上げて、学校菜園の中に池を作ることが決まり、委員会担当教員と児童で校内に池を作成している。



「水害からくらしを守る」

学校名		中野区立令和小学校	
参加人数		生徒	108人
		教師	3人

実施した活動の目的、概要

過去における多摩川の水害被害の様子について調べた。

実施した活動の内容

【いつ】

7月

【どこで】

教室

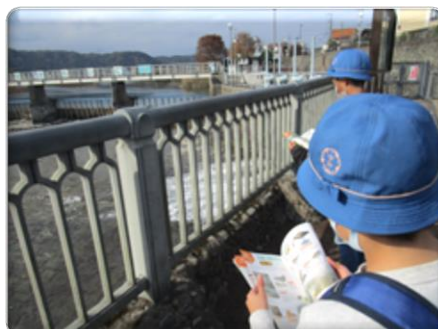
【どのようなこと】

- ・水害についての全体に向けたオリエンテーション
- ・写真を見ながらの話し合い活動（全体・グループ毎）
- ・行政の活動や流域の地域住民が行っている取り組みを図にまとめる活動

実施の様子



7月の授業の様子





11月の社会科見学の様子

活動を行った効果、参加者の声など

- ・本学校の児童にとって身近な河川は妙正寺川であり、そもそも多摩川のような大きな河川について詳しく知らない児童の実態であった。
- ・川幅があり、流域面積が広い河川の様子について理解する上で、「ようこそ多摩川へ」の副読本は大変役に立った。
- ・今回の学習を通し、平常時の多摩川の様子や流域の自然について、興味をもつ児童が多くいた。
- ・玉川上水の学習の中で多摩川の河川敷を見学をした。その時にも「ようこそ多摩川へ」の副読本を活用した。



「多摩川探検隊」

学校名		青梅市立第五小学校
参加人数		生徒 72人 教師 2人

実施した活動の目的、概要

本校の学区域は多摩川上流部の南岸に広がる。多摩川は地域に根差した存在でありながら、児童にとっては必ずしも馴染みの深い場所ではない。そこで、多摩川の自然や歴史などを総合的に調べることで、多摩川にはどんな生き物が住んでいるのか、どのように出来上がってきたのか、これからの多摩川を守っていくにはどんなことが必要かなどを考える機会とした。

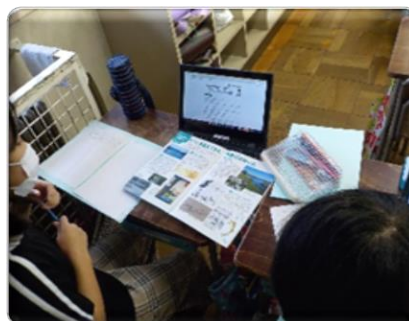
実施した活動の内容

2学期の総合的な学習の時間に「多摩川探検隊」という単元名で、多摩川に関する調べ学習を実施した。コロナ禍により学校外に出る活動は難しかったので、「ようこそ多摩川へ」の冊子を活用して、多摩川に関して興味のあるテーマを決め、図書室の資料やネットを活用した調べ学習を実施した。そして、プレゼンテーションソフトを活用して、スライドにまとめ、学級内で発表会をした。

実施の様子



冊子を活用して、調べ進めるテーマを決めています




興味のあるテーマについて、インターネットも併用して、詳しい情報を探しました

活動を行った効果、参加者の声など

- ・多摩川には、想像以上に多くの生き物が住んでいることが分かった。
- ・多摩川に住んでいる生き物の中には、外来種が多くいることが分かった。外来種は人間の活動の結果、増えていることが分かった。外来種が増えすぎてしまうと、固有種が絶滅してしまうことを知り、生態系が崩れてしまうので、生き物を飼うときには、最後まで責任をもたないといけないと思った。
- ・社会で学習した玉川上水が江戸の飲料水を支えていたことにも驚いたが、現在でも多摩川の水が東京都の飲み水として利用されていることを知り、凄と思った。
- ・今はきれいな多摩川の水だけど、昔はすごく汚れていたことを知り、驚いた。今のきれいな水をこれからも守っていくために、できることを考えていきたい。
- ・今は山ばかりの青梅市だけど、大昔は海が近くまで来ていて、昭島でクジラの化石が見つかったことを知り、驚いた。青梅市の地形も多摩川がけずってできたことを知り、今住んでいる所も多摩川が作ってくれたんだと感じた。



「八王子市立第二小学校の取り組み」

学校名		八王子市立第二小学校	
参加人数		生徒	48人
		教師	2人

実施した活動の目的、概要

- ◎多摩川や浅川などの自然景観や生息する動植物を紹介し、自然環境について考えよう。
- ◎自然環境の様子や多くの動植物が生息していることを調べよう。
 - ・今までの学習を思い出したり、資料等を活用したりして、どこにどのような自然や景観が見られるかを調べる。
 - ・このような自然環境をどのように守ったり生かしたりしているのかということ伝えるための情報を収集する。
- ◎自然に対してどのようなことを大切にしていってほしいかについて調べた場所を基にまとめる。
 - ・下級生や地域・保護者の方に調べたことを発表する。

実施した活動の内容

- ・8月、9月→わたしたちのくらしと水道（社会）・・・水に関する施設を調べる。
- ・9月→浅川散策・・・（総合的な学習の時間）・・・浅川の自然景観や生息する動植物を調べる。
- ・10月→多摩川・浅川調べ学習（総合的な学習の時間）・・・浅川や多摩川に生息する動植物を調べる。

実施の様子




活動を行った効果、参加者の声など

- ・全ページカラーで見やすかった。
- ・イラストがかわいかった。
- ・場所によって、生き物が違うのはよくわかった。
- ・歴史がわかった。
- ・水害の事もわかった。
- ・昔は、水が汚かったのがわかった。
- ・民話がおもしろかった。



「多摩川たんけん隊」

学校名		府中市立矢崎小学校
参加人数		生徒 70人 教師 2人

実施した活動の目的、概要

- ・本校4年生の総合的な学習の時間の単元として、多摩川学習を毎年実施している。
- ・身近な多摩川的环境について知り、多摩川を大切に思う心情を育てることを目的にしている。

実施した活動の内容

- ・4月 「多摩川について知る」（校内）副読本の活用
- ・5月・6月 「多摩川の生き物図鑑をスライドで作ろう」（校内）副読本の活用
- ・7月 「多摩川たんけん隊実地調査」（雨天のため、校内で昆虫博士による授業）
「元漁師による多摩川の環境の変化について 講話」
- ・12月 「多摩川たんけん隊実地調査」（多摩川）水質検査と野鳥観察、冬の河川敷の調査
- ・1月～3月 「多摩川たんけん隊学習のまとめ」（校内）副読本の活用

実施の様子



写真は、12月に行った「多摩川たんけん隊実地調査」の様子です。
多摩川で、水質検査と野鳥観察、冬の河川敷の調査を行いました。

活動を行った効果、参加者の声など

- ・毎年、複数回多摩川を訪れ、生き物等の実地調査を行ってきた。しかし、感染症対策により、実地調査の回数が大きく減った。また、多摩川の中に実際に入って調査を行うガザガザは実施できなかった。そのため、副読本を活用することで実地調査が行うことができなかった部分を補うことができた。
- ・副読本では、多摩川の上・中・下流に分かれて生き物が紹介されており、自分たちが住む中流地域により、興味をもたせやすい構成になっていた。
- ・社会科の上下水道の学習や、防災学習とも関連させやすく、総合的な学習の時間だけでなく、様々な授業で活用することができた。
- ・多摩川に実際に行くことができない代わりに、夏休みなどを利用して家族と一緒に生き物を観察した児童が多く、その際に副読本が役に立ったという声が多かった。